

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第137回）議事概要

1 日時 平成30年10月3日（水） 10時30分～11時30分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

西尾 章治郎（分科会長）、安藤 真、伊丹 誠、江村 克己、
近藤 則子、上條 由紀子、三瓶 政一、知野 恵子、
森川 博之（以上9名）

（2）専門委員（敬称略）

多氣 昌生、雨宮 不二雄（以上2名）

（3）総務省

（国際戦略局）

吉田 真人（国際戦略局長）、泉 宏哉（官房審議官）、藤野 克（総務課長）、
坂中 靖志（技術政策課長）

（情報流通行政局）

山田 真貴子（情報流通行政局長）、奈良 俊哉（官房審議官）、
岡崎 毅（総務課長）、井幡 晃三（衛星・地域放送課長）、
田邊 光男（地域放送推進室長）、安澤 徹（地域放送推進室技術企画官）

（総合通信基盤局）

谷脇 康彦（総合通信基盤局長）、田原 康生（電波部長）、
竹村 晃一（総務課長）、塩崎 充博（電波環境課長）、
関口 裕（電波環境課電波利用環境専門官）

（4）事務局

後潟 浩一郎（情報流通行政局総務課総合通信管理室長）

4 議 題

答申事項

- ① 「ケーブルテレビシステムの技術的条件」のうち「ケーブルテレビにおけるIP放送等に関する技術的条件」

【平成18年9月28日付け諮問第2024号】

【内容】

本件は、4K・8Kをはじめとする放送サービスの高度化、テレビ視聴形態の多様化等、放送を取り巻く環境が変化しているとともに、ブロードバンド網の広帯域化などを踏まえ、ケーブルテレビ事業者などによる、インターネットプロトコル（IP）を活用した取り組みが進んでいる中、ケーブルテレビ事業者等がインターネットプロトコル（IP）の技術を用いた放送を行う場合に、同一の内容を不特定多数が同時に視聴できるという放送の特徴及びその品質を確保する観点から技術的条件の検討を行ってきたもの。

審議の結果、放送システム委員会から報告があったとおり、答申案を了承し、答申することとした。

- ② 「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格について」のうち「CISPR 釜山会議 対処方針」について

【昭和63年9月26日付 電気通信技術審議会諮問第3号】

【内容】

本件は、10月15日より韓国の釜山にて開催されるCISPR総会及び各小委員会での対処方針の審議を行ったもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、答申案を了承し、答申することとした。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報流通行政局 総務課 総合通信管理室
調整係 野川、徳永

電 話：03-5253-5432

F A X：03-5253-6063

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。